

12. お住まいの地震対策について（問30～問32）

<昭和56年5月31日以前（耐震性が低い可能性がある）に着工された住宅にお住まいの方にお聞きします。>

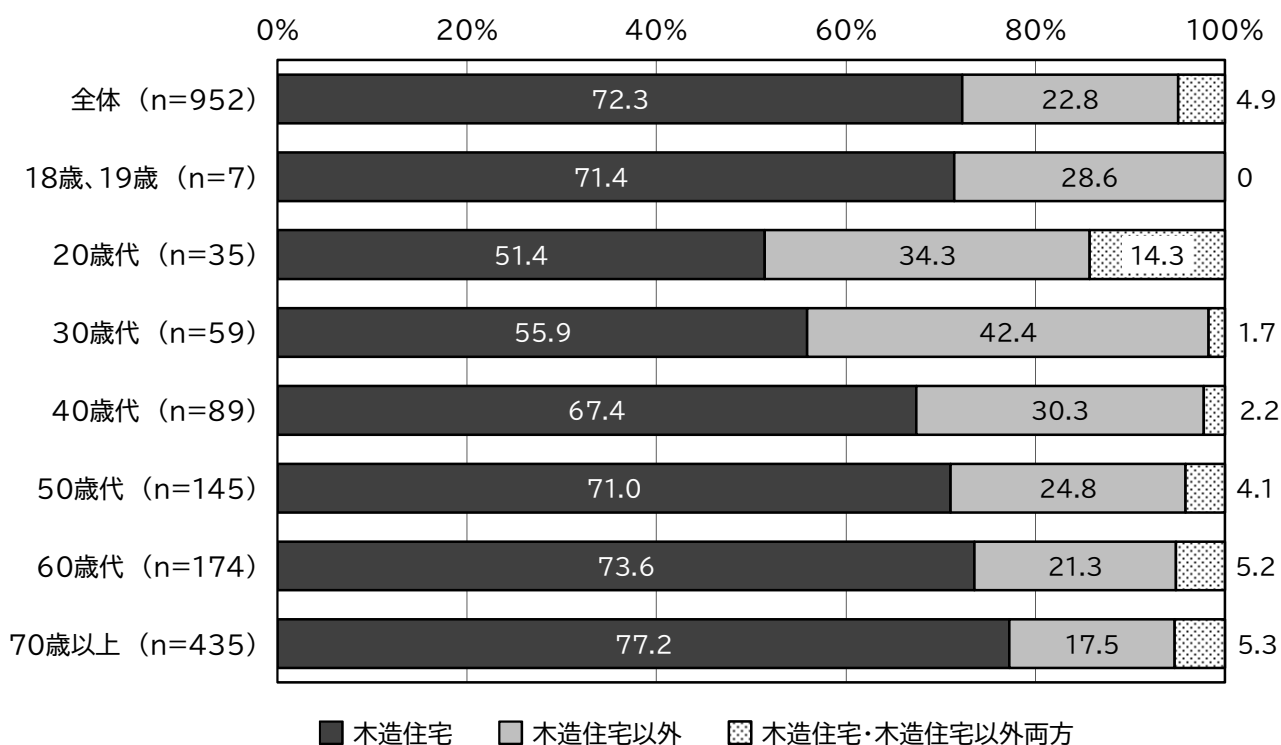
問30 お住まいの住宅は、木造ですか、木造以外（鉄骨造、鉄筋コンクリート造等）ですか。（n=952）

（1）全体的傾向

「木造住宅」と回答した人の割合が72.3%と最も高く約7割となっている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で「木造住宅」と回答した人の割合が最も高くなっている。



問3 1 お住まいの住宅に対して、どのような地震対策をしていますか。

(複数回答：n=870)

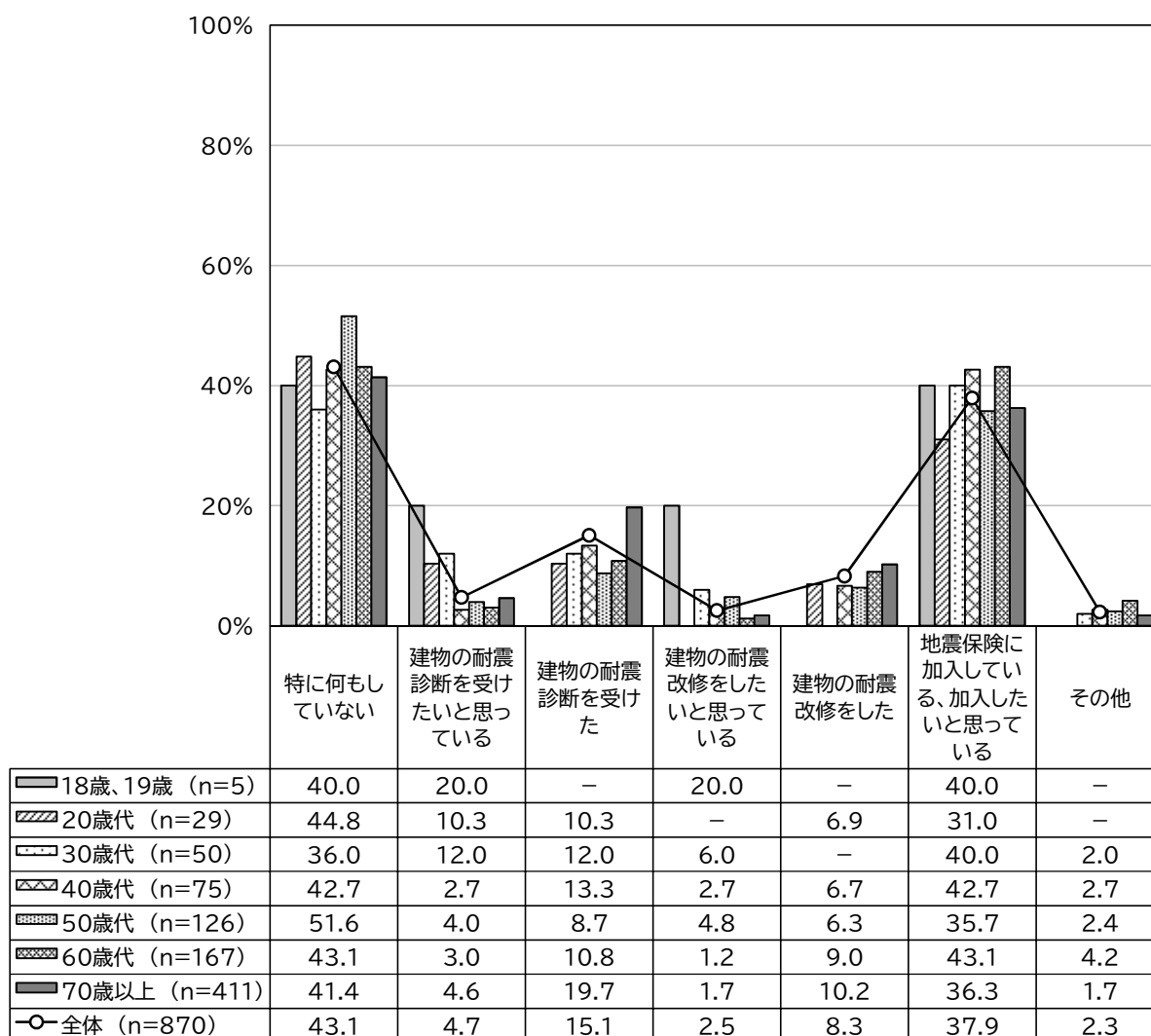
(1) 全体的傾向

「特に何もしていない」と回答した人の割合が43.1%と最も高く、次いで「地震保険に加入している、加入したいと思っている」(37.9%)、「建物の耐震診断を受けた」(15.1%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

18歳、19歳は回答数が少ないため20歳代以上でみると、30歳代以外で「特に何もしていない」と回答した人の割合が最も高く、4割を超えている。

また、すべての年代で「地震保険に加入している、加入したいと思っている」と回答した人の割合は高くなっている。



<問31で「特に何もしていない」と答えた方にお聞きします。>

問32 地震対策をしていない理由は次のうちどれですか。(複数回答：n=357)

(1) 全体的傾向

「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が42.6%と最も高く、次いで「耐震診断にお金がかかる」(28.6%)、「自分が所有している住宅ではないため(借家など)」(21.0%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

18歳、19歳は回答数が少ないため20歳代以上でみると、30歳代以上は「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が35.3%~48.5%と最も高くなっている。

また、70歳以上は「地震に対する不安がない」と回答した人の割合が20.8%と他の年代と比べ高くなっている。

